

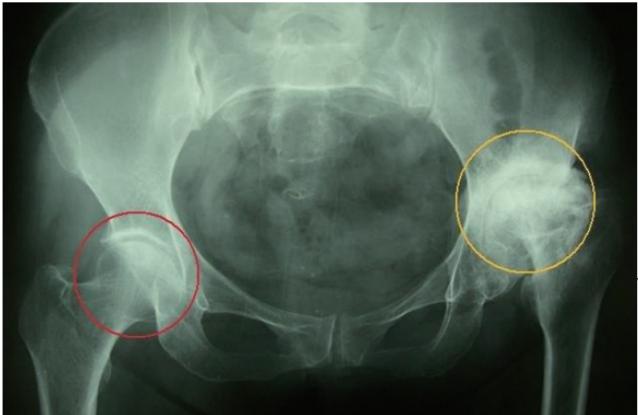
手術をせずに痛みやしひれが治る場合も

脊柱管狭窄症やヘルニア、変形性関節症で手術が必要と診断された方でも、痛みやしひれの原因は実は

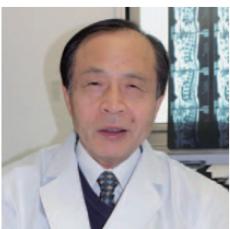
腰をはじめ、首、肩、手、股関節、膝、足までの多岐にわたる整形外科の痛みやしひれは、レントゲンやMRIに写った異常ではなく、関節機能障害が本当の原因である場合が多い。AKA-博田法は、術者の手により関節を1ミリ単位で動かして関節機能障害を治療する手技療法だ。その特徴は痛みやしひれの治療に有効なだけでなく、その原因を見極め手術が必要かどうかの診断も可能のこと。「写真は変形性股関節症のレントゲンですが、股関節に限らず、

関節機能障害であることが多いのです。この場合、AKAで関節機能障害を治療することで痛みやしひれの多くは改善し、手術を回避することができます」と望クリニック院長の住田憲是氏は話す。痛みやしひれで困つたら、まずはAKA-博田法を受診してみるのもよいだろう。

術者の手により、関節をミリ単位で動かしていく



変形性股関節症をAKAで治療した症例。赤に比べて、痛みがある黄色の方が関節の隙間が狭く、変形が進んでいるが、AKAによって痛みがなくなったため、痛みの直接の原因是股関節の変形ではなく関節機能障害であると考えられる



望クリニック院長

住田憲是 先生

望クリニック

〒171-0032

東京都豊島区雑司が谷2-4-1

TEL.03-3986-7889

<http://www.nozomi-clinic-japan.com/>

